

## 競技会参加時の新型コロナウイルス対策の具体的留意点について

道北陸上競技協会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、競技会参加にあたっては、下記の具体的留意点をお読みいただき、それぞれが責任をもって対応していただくよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、今後、新型コロナウイルスの状況により、突然、競技会が中止及び延期の場合がありますので当協会ホームページで事前確認をお願い申し上げます。

### 【大会総務】

- ①新型コロナウイルスに関する状況を常に確認し、場合によっては旭川市や緑地協会、大会主催者等と協議の上、大会の開催・延期・中止等について検討する。
- ②大会前には、参加者および関係者に感染症拡大防止について周知をする。（大会要項に必須事項を記載する）
- ③本部に消毒液、体温計を用意する。
- ④表彰や招集時間・方法等を工夫して、多くの選手が集まらないようにする。
- ⑤大会終了後2週間以内に、大会参加者の中から感染が確認された場合、保健所等と相談の上、個人情報保護に最大限配慮をしつつ、適切な情報開示、参加者との情報共有に努める。

### 【競技役員】

- ①状況により急に競技会の中止・延期措置をとることもあるので、事前に当協会ホームページで確認する。または、審判委員長に電話で確認する。
- ②大会当日の検温で、（腋下体温）37度を超える場合は、審判はできない。また体調が悪い（風邪症状などがある）場合は、極力、審判業務をすることを見送る。
- ③競技役員は、各顧問を中心として、必要最小限での人数で行う。
- ④**マスク着用、手洗い(特に、用器具に触れた場合)、うがい**を励行する。
- ⑤**密集や近距離での会話、大声での発声を避ける。選手にも競技前に指導する。**
- ⑥**「競技者係」は設けず、スタート地点・試技場での点呼のみとする。**
- ⑦トラック競技に使用する**腰ゼッケン**はスタンド裏に用意し、点呼時間までに選手が直接取り行く。競技終了後は、選手がゴール地点の回収かごに返却するので、整理し所定の場所に戻す。
- ⑧**「出発係」での点呼は、**プログラムに時間を明示し、組数が多い場合は時間差で招集する。
- ⑨棄権者の連絡はトランシーバーを使い、出発係・フィールド審判員がアナウンサー・写真判定員・記録員に報告する。
- ⑩**招集場所**は、スペースを広くとり、各選手の間隔を前後左右約2mとる。
- ⑪競技終了後は、速やかに退場するように指示する。審判も同様。
- ⑫**記録速報掲示は行わない。**記録はアナウンスし、当協会ホームページに掲載する。決勝ラウンドがある場合の番組編成等は掲示する。
- ⑬総務・審判長・主任と協議しながら臨機応変に対応して競技会運営をする。
- ⑭審判・選手への連絡等は、放送を使い周知徹底する。
- ⑮大会終了後2週間以内に、感染が確認された場合、大会主催者に報告する。

## 【選手】

- ①状況により急に競技会の中止・延期措置をとることもあるので、事前に当協会ホームページで確認する。
- ②大会前2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした場合や大会当日の検温で（腋下体温）37度を超える場合、競技会に参加できない。または、体調が悪い（風邪症状などがある）場合は、極力、大会参加を見送る。
- ③競技会前日と当日の**腋下体温を引率者に報告**する。
- ④テントを張る場合は、横幕を明け、密閉状態を作らない。基本的には荷物保管場所とし、人が利用する場合は、約2mの間隔をあける。
- ⑤**密集や近距離での会話、応援を含む大声での発声を避ける。競技場内、スタンドともに同様の対応とする。隣との間隔を約2mあける。**
- ⑥**ウォーミングアップやダウンは**、競技場外を使用し、密を避けて実施する。
- ⑦競技者係での点呼は行わないので、**招集はスタート地点・試技場に直接集合とする**。招集時間はプログラムに記載するので、十分に確認すること。間に合わない場合は棄権と判断される。
- ⑧トラック競技に出場する選手の**腰ゼッケン**は、スタンド裏のテント（通常、競技者係があるところ）に用意するので各自取りに行く。競技終了後は、腰ゼッケンを外し回収かごに返却する。
- ⑨**スタート地点や試技場では**、選手同士の間隔を前後左右約2mあけて待機し、点呼をうける。審判の指示をよく聞くこと。
- ⑩競技終了後は、審判の指示により速やかに退場する。
- ⑪器具を触った手で口や目を触らず、競技終了後は、入念な手洗いをを行う。
- ⑫表彰状や記録証等は、スタンド下エントランスホールに置くので各自が取りに行く。
- ⑬**記録速報掲示はされず**、アナウンスのみなので、放送をよく聞く。また当協会ホームページに掲載するので、それを利用する。決勝ラウンドがある場合の番組編成等は掲示される。
- ⑭記録の発表を含め、放送を使って大切な連絡をするので、しっかり聞き対応する。
- ⑮更衣室の使用は、着替えのみとし、密集がないようお互いに心がけて使用する。
- ⑯大会観戦や応援時は、マスクを着用する。
- ⑰大会終了後2週間以内に、感染が確認された場合、大会主催者に報告する。

## 【観客・引率者(顧問・指導者・保護者)】 7/4・5は無観客で実施します。

- ①状況により急に競技会の中止・延期措置をとることもあるので、事前に当協会ホームページで確認する。
- ②大会当日の検温で、（腋下体温）37度を超える場合、来場できない。
- ③引率者は、選手または保護者から体温の報告を受け、選手の体調把握をする。（大会前日および当日の体温は、必ず把握する。）体温が37度を超える場合、または体調が悪い選手は（風邪症状など）速やかに帰宅させる。
- ④引率者は、事前に新型コロナウイルスの具体的留意点を選手に指導する。保護者等にも同様の内容を伝える。また、マスクを着用する。
- ⑤スタンド・芝生席では、マスク着用、手すりなどを触った場合等の手洗いを励行する。間隔を約2mあけて座る。近距離での会話や応援を含めた大声での発声を避ける。
- ⑥招集方法については、【選手】欄を参照し、選手に周知徹底する。特に小学生は、指導者と保護者で連携しながら速やかにかつ安全に競技会に参加できるよう留意する。
- ⑦大会終了後2週間以内に、感染が確認された場合、大会主催者に報告する。

## 【競技会 開催可否判断基準について】

北海道対策警戒ステージ1，2に該当の場合は，その時点の管内の状況を基本に中止を検討し，ステージ3の場合は，中止とする。

### ◇北海道対策警戒ステージ◇

ステージ	目 安	対応内容
1	振興局別感染経路不明者が1日2名以上	振興局による注意喚起，感染対策の徹底
2	2日連続感染者10人以上，経路不明多数，前週より増，医療体制逼迫	知事による外出抑制要請
3	政府の緊急事態宣言指定	知事による外出自粛要請，イベント開催制限，休業要請など検討